

令和6年度 学校評価のまとめ【生徒】

1. 回答数（回答率）

1年	2年	3年	全体
28/28 (100%)	25/29 (86.2%)	27/29 (93.1%)	80/86 (93.0%)

2. 評価（4件法：表上部の数字は評価点数）

4	3	1	点数化対象外
■ はい	■ だいたい	■ いいえ	■ わからない

3. 各評価項目の回答結果（平均値及び中央値については、「わからない」を除外した値）

(1) 教育活動

	具体的評価項目	平均値 (中央値)	回答結果(割合)				
			0%	25%	50%	75%	100%
1	学校の校訓の意味を知っている。	3.12 (3)					
2	先生は自分の良いところや努力したことをほめてくれる。	3.56 (4)					
3	先生は今日の予定を分かりやすく説明してくれる。	3.72 (4)					
4	先生は授業でいいいに指導してくれる。	3.60 (4)					
5	先生は iPad やパソコンを使って指導してくれる。	3.58 (4)					
6	先生は卒業後の生活について、いろいろな機会に話してくれる。	3.52 (4)					
7	先生は健康や安全について指導してくれる。	3.61 (4)					
8	現場実習やデュアル型実習などは良い経験となっている。	3.78 (4)					
9	困った時や悩んだ時は、先生が相談にのってくれる。	3.51 (4)					
10	先生は生徒会活動で生徒の意見を大事にしてくれる。	3.30 (3)					
11	教科や専門コースの学習を頑張っている。	3.74 (4)					
12	係の仕事、委員会活動を頑張っている。	3.58 (4)					
13	進んで挨拶ができています。	3.19 (3)					
14	友達に優しくしている。また友達が優しくしてくれる。	3.82 (4)					
15	学校生活をとおして自分の長所を伸ばしている。	3.44 (4)					
16	学校生活をとおして、自分の課題改善に取り組んでいる。	3.39 (3)					
17	部活動に楽しく参加している。	3.53 (4)					

(2) 教育環境

	具体的評価項目	平均値 (中央値)	回答結果(割合)				
			0%	25%	50%	75%	100%
18	学習に必要な施設、設備が十分そろっている。	3.49 (4)					
19	学校は安全面で十分に気を配っている。	3.63 (4)					

(3) 開かれた学校

	具体的評価項目	平均値 (中央値)	回答結果(割合)				
			0%	25%	50%	75%	100%
20	学校は地域の人たちとの交流の機会がある。	3.48 (4)					
21	学校の先生以外の人から教えてもらう機会が多くある。	3.35 (3)					

4. 評価結果の分析

(1) 高評価の項目

	具体的評価項目	平均値	中央値	「はい」の割合	標準偏差
14	友達に優しくしている。また友達が優しくしてくれる。	3.82	4	78.8%	0.66
8	現場実習やデュアル型実習などは良い経験となっている。	3.78	4	76.3%	0.60
11	教科や専門コースの学習を頑張っている。	3.74	4	71.3%	0.68

○ 友達に優しくしている。また友達が優しくしてくれる。

生徒は、生徒間の友情や助け合いが良好で、日常生活でポジティブな関係性が形成されていると感じていることが伺える。

○ 現場実習やデュアル型実習などは良い経験となっている。

実習を通じた実践的学びの効果が高く評価されている。生徒は、学んだ内容を現場で実践する機会が充実しており、将来への準備に役立っていると感じていることが伺える。

○ 教科や専門コースの学習を頑張っている。

生徒は、教科や専門コースの学習に意欲的に取り組んでおり、本校での職業教育の充実度や生徒の努力を引き出す環境が整っていると感じている可能性が伺える。

(2) 改善が必要な項目

	具体的評価項目	平均値	中央値	「はい」の割合	標準偏差
1	学校の校訓の意味を知っている。	3.12	3	28.8%	0.71
13	進んで挨拶ができています。	3.19	3	27.5%	0.75
10	先生は生徒会活動で生徒の意見を大事にしてくれる。	3.30	3	41.3%	1.02

○ 学校の校訓の意味を知っている。

校訓が生徒にとって身近で理解しやすい形で浸透していない可能性がある。校訓の意義や実生活との関連性を具体的に示し、生徒がそれを実感できる場や機会を増やす取り組みが必要であると考えます。

○ 進んで挨拶ができています。

挨拶の習慣化や自発性に課題があることが示唆されており、挨拶の重要性を再認識させる指導が必要である。挨拶は企業就労を目指すうえでの基本であり、学校全体の文化として確実に定着させる必要がある。

○ 先生は生徒会活動で生徒の意見を大事にしてくれる。

生徒会活動において、自分たちの意見が十分に尊重されていないと感じている生徒が多い。生徒の声に真剣に耳を傾けていることを明確に示すとともに、反映できないことについては具体的な説明が求められる。

(3) 総合的な考察

標準偏差の平均値は 0.75 であり、全体として評価にある程度のばらつきが見られる。質問 10 の標準偏差が最も大きい 1.02 であり、生徒会活動に対する評価が生徒間で異なることを示している。高評価の項目については、標準偏差が平均値よりも低い 0.60~0.68 の範囲にあり、意見が一致している傾向が強い。

今回の評価から、生徒同士の関係や実践的な学習に対する評価が高い一方で、生徒が主体的に取り組む活動や学校方針を身近に感じられていない点が挙げられる。校訓や挨拶は学校の基盤となる要素だが、生徒の日常生活や学校活動とのつながりが見えにくいため、行動や意識に反映されにくくなったと思われる。また、生徒会活動では、教師が生徒の意見を尊重したり、説明したりする仕組みを明確にすることが求められる。

5. 過年度との比較【参考】

(1) 教育活動

	具体的評価項目	回答結果(割合)					
		0%	25%	50%	75%	100%	
1	学校の校訓の意味を知っている。	R4					
		R5					
		R6					
2	先生は自分の良いところや努力したことをほめてくれる。	R4					
		R5					
		R6					
3	先生は今日の予定を分かりやすく説明してくれる。	R4					
		R5					
		R6					
4	先生は授業でいねいに指導してくれる。	R4					
		R5					
		R6					
5	先生はiPadやパソコンを使って指導してくれる。	R4					
		R5					
		R6					
6	先生は卒業後の生活について、いろいろな機会に話してくれる。	R4					
		R5					
		R6					
7	先生は健康や安全について指導してくれる。	R4					
		R5					
		R6					
8	現場実習やデュアル型実習などは良い経験となっている。	R4					
		R5					
		R6					
9	困った時や悩んだ時は、先生が相談にのってくれる。	R4					
		R5					
		R6					

	具体的評価項目	回答結果(割合)					
		0%	25%	50%	75%	100%	
10	先生は生徒会活動で生徒の意見を大事にしてくれる。	R4					
		R5					
		R6					
11	教科や専門コースの学習を頑張っている。	R4					
		R5					
		R6					
12	係の仕事、委員会活動を頑張っている。	R4					
		R5					
		R6					
13	進んで挨拶ができています。	R4					
		R5					
		R6					
14	友達に優しくしている。また友達が優しくしてくれる。	R4					
		R5					
		R6					
15	学校生活をとおして自分の長所を伸ばしている。	R4					
		R5					
		R6					
16	学校生活をとおして、自分の課題改善に取り組んでいる。	R4					
		R5					
		R6					
17	部活動に楽しく参加している。	R4					
		R5					
		R6					

(2) 教育環境

	具体的評価項目	回答結果(割合)					
		0%	25%	50%	75%	100%	
18	学習に必要な施設、設備が十分そろっている。	R4					
		R5					
		R6					
19	学校は安全面で十分に気を配っている。	R4					
		R5					
		R6					

(3) 開かれた学校

	具体的評価項目	回答結果(割合)					
		0%	25%	50%	75%	100%	
20	学校は地域の人たちとの交流の機会がある。	R4					
		R5					
		R6					
21	学校の先生以外の人から教えてもらう機会が多くある。	R4					
		R5					
		R6					